

令和7年度
(2025年度)

事業計画書



社会福祉法人

池上長寿園

IKEGAMI CHOJUEEN

目次

I	社会福祉法人池上長寿園令和7年度基本方針	1
1	社会福祉法人を取り巻く状況	1
2	令和7年度収支見通し	1
3	令和7年度基本方針	1
II	令和6年度～8年度における重点取組事項	2
III	経営本部等事業方針	3
1	経営本部等事業方針	3
2	事業計画・予算編成における推進項目	3
3	経営本部事業計画書（課別）	6
	（1）経営企画課	6
	（2）情報システム課	7
	（3）人財課	8
	（4）総務課	9
	（5）大規模改修担当	10
4	リスク管理・監査室	11
5	経営支援室	12
IV	事業方針	13
1	事業方針	13
2	事業計画・予算編成における推進項目	13
3	事業担当	14
	（1）施設事業担当	14
	（2）在宅事業担当	15
	（3）公益事業担当	16
4	事業部門	17
	（1）羽田・糀谷事業部門	17
	（2）池上事業部門	25
	（3）大森事業部門	32
	（4）蒲田事業部門	37
	（5）たまがわ事業部門	47

I 社会福祉法人池上長寿園令和7年度基本方針

1 社会福祉法人を取り巻く状況

老人福祉・介護事業を取り巻く環境は民間である大手との競合や人材の採用難、後継者の不在など、中小の事業者にとっては幾重もの経営難が続く、厳しい環境の中で、物価高騰の影響も大きなものとなっています。福祉医療機構（WAM）の2022年度調査によると、介護事業を主体とする法人の赤字割合は高く、45.8%に達しています。今後、持続可能な事業者と生き残ることが困難となる事業者の二極化が更に拡大するとみられており、決して他人事ではありません。

私たち池上長寿園は、目まぐるしく変わる社会情勢においても大田区民を中心とした皆様のウェルビーイングに貢献し、社会的価値のある事業を存続させるための良質なサービスを提供していくと共に、持続可能な法人経営へと転換していく必要があります。

2 令和7年度収支見通し

未来への創造プラン4.0の収支の見通しにおいては、令和7年度の事業活動収入を57億8,100万円、事業活動支出を54億8,500万円と見込んでおります。その他に介護記録システム導入費用等の大きな支出も予定しております。そして、特養糺谷の大規模修繕工事に伴う休止による減収をはじめとし、燃料費・光熱水費をはじめとする物価の高騰などのリスクに対して留意する状況は続いています。

このような中で、法人の体質強化と職員のエンゲージメント向上やキャリアデザイン推進を実践するための、人的資本への投資をしていくためには、確実な収入確保とコスト削減・適正化をすすめることが必須となります。

3 令和7年度 基本方針

【 自立経営への構造変革 ～事業は人財なり～ 】

社会は複雑化、多様化しており、これまでの当たり前だったことを当たり前のように続けるだけでは、私たち池上長寿園が100年以上続く法人であることを困難とする時代となっています。

池上長寿園が将来にわたって地域の発展に貢献し、その価値の提供において「共に考え、共に行動し、共に創る」ことのできる法人になることは時代の要請です。そのためにも自らの経営の透明性を図り、自立経営への構造変革が重要です。

変わりゆく社会に対応し、新たな成長を創造するには、これからの時代を見据えた人と組織の変革が必要です。つまり、組織としての力の源泉である職員一人ひとりの輝きを最大化する取り組みを実践することです。

歴史を紡ぎ、今に挑戦する法人の職員として、「地域の発展に貢献するという変わらない理念のために変わる」行動を起こしましょう。

Ⅱ 令和6年度～8年度における重点取組事項

- 1 人材の確保・育成・定着
- 2 組織の変革
- 3 サービスの質の確保
- 4 生産性の向上

法人として全社展開する内容は以下の4点とする。

- ・法人研修室（仮称）の設置
- ・事業担当ラインの確立
- ・持ち上げない介護の推進
- ・介護記録システムの全社導入

Ⅲ 経営本部等事業方針

1 経営本部等事業方針

池上長寿園を取り巻く環境は、利用者ニーズの多様化や競争の激化、財政制約など、ますます複雑化しています。このような状況の中、経営本部では、人的資本を最大化することを目指し、組織改革、職員エンゲージメントの向上、そしてICT（DX）の推進に注力していきます。

また、全体最適の視点を持ちながら、収入の確実な確保とコスト削減・最適化を両立させることで、法人の安定的な運営に貢献しています。これらの取り組みを通じて、地域社会に根ざした質の高いサービスを提供するとともに、持続可能な法人運営を実現し、社会福祉の発展に寄与していきます。

2 事業計画・予算編成における推進項目

- ・事業構造の見直し

業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。

- ・マネジメントの可視化

あるべき姿の組織図を明確にすることでマネジメントにおける迅速な意思決定の仕組みを構築します。

- ・経営人財の育成

持続可能な経営体制を確保するための人財育成を図ります。

- ・適所適材の実践

提供サービスごとの人員配置構造を構築し経営基盤の安定を図ります。

○法人予算概要

令和7年度法人全体の予算概要については次のとおりです。

(千円)

第1種社会福祉事業	特別養護老人ホーム（短期入所生活介護含）	3,805,204
	養護老人ホーム	179,743
	軽費老人ホーム	60,858
	合計	4,045,805
第2種社会福祉事業	通所介護（総合事業含）・認知症対応型通所介護事業	981,969
	ヘルパーステーション	47,605
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	44,023
	本部	13,160
	合計	1,086,757
公益事業	ケアプランセンター	41,469
	地域包括支援センター	481,684
	シニアステーション	104,225
	若年性認知症支援相談窓口	20,530
	その他	825
	合計	648,733
事業活動収入計 ①		5,781,295
支出	(人件費)	3,605,063
	(事業費)	833,185
	(事務費)	1,044,780
	(その他費用)	2,336
事業活動支出計 ②		5,485,364
事業活動資金収支差額 ③ (③=①-②)		295,931

令和7年度事業の目標利用率については次のとおりです。

	定員	目標利用率
特別養護老人ホーム	660 (764)	95.8% (82.7%)
短期入所生活介護	46 (57)	110.0% (88.7%)
特養+短期計	706 (821)	96.7% (83.1%)
一般通所介護	235	73.3%
認知症対応型通所介護	108	82.3%
通所介護計	343	76.1%

※ () 内は特別養護老人ホーム糀谷（休止中）のベッド数を含んだ場合

特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

	施設	羽田	糀谷	池上	大森	蒲田	たまがわ	馬込
特養	定 員	100	休止中	102	87	104	237	30
	目標利用率	96.0%		97.8%	97.0%	96.0%	94.3%	95.0%
短期	定 員	8		8	4	11	10	5
	目標利用率	115.0%		100.0%	120.0%	117.0%	153.1%	100.0%
特養+ 短期計	定 員	108		110	91	115	247	35
	目標利用率	97.4%		98.0%	98.0%	98.0%	96.0%	95.7%

※特別養護老人ホーム糀谷は大規模改修工事のため休止中

※特別養護老人ホームたまがわの利用率について、定員は大田区高齢者緊急ショートステイ事業（空床確保分3床）を含み、利用率には含まない

一般通所介護・認知症対応型通所介護

	事業所	羽田	糀谷	池上	大森	蒲田	矢口	たまがわ	下丸子
一般	定 員	35	35	35		40	25	20	45
	目標利用率	76.0%	78.4%	66.4%		75.0%	88.0%	80.0%	60.0%
認知	定 員	12	12	12	24	12	12	12	12
	目標利用率	78.0%	70.0%	73.0%	90.0%	89.0%	90.3%	80.0%	80.0%
通所 介護計	定 員	47	47	47	24	52	37	32	57
	目標利用率	76.5%	76.3%	68.1%	90.0%	78.2%	88.7%	80.0%	64.2%

3 経営本部事業計画

(1) 経営企画課 事業計画書（案）

① 課の基本方針

経営本部等事業方針に基づき、持続可能な経営体制を構築するため組織変革を進めていきます。また、業務の効率化と生産性を高め、法人経営の安定化に取り組みます。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
本部機能の再構築に取り組みます。	DX戦略の策定	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
事業構造の再構築に取り組みます。	組織図の策定	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
DXグランドデザインの策定に取り組みます。	DXグランドデザイン チームの編成	910,000円

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
採用活動のPDCAサイクルを構築します。	採用者数35人 (介護職員)	20,000,000円

(2) 情報システム課 事業計画書（案）

① 課の基本方針

組織の運営や目標達成を支援するため、法人のIT・ICT化を推進します。業務の効率化や経営戦略の実現をサポートできる体制を構築し、もって、組織全体の成長や生産性の向上を目指します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
基幹システムを構築します。	IT戦略の検討	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
定常業務を標準化します。	ドキュメント・マニュアルの作成	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
情報リテラシーを向上します。	情報セキュリティ研修の受講	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
スキルマップを視覚化します。	職務記述書の検討	—

(3) 人財課 事業計画書（案）

① 課の基本方針

池上長寿園の経営資源である「ヒト」の価値を最大化するために、役割との整合性が図られた人事給与制度への改革を推進します。また、本部機能を最大限発揮するために他課と連携しながら見える化に向けた検討を進めます。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
業務効率化、生産性向上に向けてICT導入も含めた検討をします。	業務改善計画書	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
人事給与制度の改革に向けて他課と連携しながら検討します。	人事給与制度改定に向けた行動計画書	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
人財育成PJに参画し、育成計画の立案および研修計画を遂行します。	育成計画書	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
管理監督者の資格要件を見直し、検討します。	資格要件一覧表	—

(4) 総務課 事業計画書（案）

① 課の基本方針

持続可能な法人経営のため、生産性向上を強化する取り組みを進めます。その中でもシステム導入に伴う運用やマニュアルの整備を行い、誰もが同じように業務を行えることを目指します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
業務プロセス自動化に向けてのシステム導入を検討します。	導入システム決定	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
法人諸規程の適正な運用を推進します。	各規程の見直し、周知徹底	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
総務課業務を習得するため、マニュアル作成及びOJTを促進します。	業務分掌に沿ったマニュアル・研修、指導の実施	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
介護記録システム導入に伴い、介護報酬請求システムの運用を統一化します。	ケアカルテによる請求業務開始（大森・池上）	300,000円

(5) 大規模改修担当 事業計画書（案）

① 課の基本方針

区立施設の大規模修繕工事の実施にともなう大田区への協力および必要な調整等を行います。

法人内施設の修繕工事、施設保守等について必要な助言、管理を行います。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
施設事業に関する業務委託契約等手続き業務を標準化します。	業務委託契約手順書の作成	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
大規模修繕に関する今後の見通しを見える化します。	大規模修繕関連スケジュール概要の作成	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
施設保全業務に関する手続き等を標準化します。	施設保全関係の人財育成研修の実施	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
—	—	—

4 リスク管理・監査室

リスク管理・監査室 事業計画書（案）

① 室の基本方針

ご利用者の安全とサービス向上を実現するため、危機管理、災害対策、事故防止、職員育成について法人共通の取り組みを推進します。
また、監査機能を活用し法令遵守、経営管理体制の強化を図ります。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
業務継続計画、安全運転管理、教育等の法人標準化を図ります。	研修、訓練、情報収集の支援	352,500円

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
監査機能により、法令遵守と適正な事業管理を強化、共有化します。	計画に基づく監査の実施、改善支援	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
法令遵守とリスクマネジメントを实践できる職員を育成します。	内部監査と事業活動への情報提供、支援	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
業務継続、事故防止体制等の業務を整理し、室の役割を明確にします。	室の機能、業務検証棚卸	—

5 経営支援室

経営支援室

事業計画書（案）

① 室の基本方針

持続可能な法人経営に向けて、事業部門との連携により予算執行管理支援、手法やツールの開発・更新等に取り組みます。
 室の活動を通じて、次世代を担う経営人財を育成します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
予算管理を健全化します。	月次の予算執行管理状況確認、検証	—

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
予算執行管理情報を共有化します。	予算管理情報の分析と発信、事業部門訪問	—

②-3 経営人財の育成

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
予算管理が適切にできる経営人財を育成します。	室員による経営指標の分析と実践	—

②-4 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
育成した室員を事業部門の予算管理に寄与させます。	全事業部門から室員配置	—

IV 事業方針

1 事業方針

令和7年度は、「未来への創造プラン4.0」の中間年度であり、推進項目の目的や目標を達成するために責任を持ち、さらなる積極的な行動と実践を追求します。常に念頭に置かなければならないことは、利用者の尊厳の保持・自立支援と地域社会での社会福祉法人としての役割を認識することです。そして、職員一人ひとりがケースワーク力を向上し、利用者のニーズを的確に捉えて介護・支援を実践することで区民から信頼される、支持される法人になることができると考えます。このような法人の姿勢は、介護を志す人たちにも少なからず影響を及ぼし、法人の推進する事業に直接的または間接的に力を貸してもらえるようになると思っています。また、地域において法人の福祉・介護の実践を通して信頼を獲得し、地域共生社会構築の核としての働きを果たしていきます。

2 事業計画・予算編成における推進項目

- ・顧客満足度の向上

提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。

- ・職員満足度の向上

多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。

- ・コスト最適化の実現

提供サービスごとの適正費用を確立します。

- ・提供価値の可視化

池上長寿園の強みをいかした、地域貢献事業を行います。

3 事業担当

(1) 施設事業担当

事業計画書（案）

① 課・事業担当の基本方針

ご利用者、地域、職員など大田区民を中心とした人たちと共に考え、考動し創る福祉のため最大限の後方支援を行うと同時に、中期経営計画推進項目の目的や目標を達成するため、適切な進行管理に基づく事業管理を行います。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
区民から選ばれる法人を目指します。	事業間連携の構築	—

②-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
職種別等業務可視化やスキルアップ研修の体系化を目指します。	ケースワーク力・グループワーク力の向上	887,390円

②-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
池上長寿園の提供価値向上を目指します。	魅力ある法人の構築	—

②-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
ケース検討会を実施します。	検討事例の可視化	—

(2) 在宅事業担当

事業計画書（案）

① 課・事業担当の基本方針

ご利用者、地域、職員等大田区民を中心とした人たちと共に考え、行動し創る福祉のため最大限の後方支援を行うと同時に、中期経営計画推進項目の目的や目標を達成するため、適切な進行管理に基づく事業管理を行います。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
ご利用者の尊厳維持と自立支援に向けた取組みを実践します。	『尊厳10の約束』の実践と事例検討	—

②-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
フロント業務を通じた個別支援への取組みと連携力の向上に取り組めます。	チームによるフロント業務支援	—

②-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
社会福祉法人としての取組みによるコスト意識の醸成を図ります。	魅力ある法人の構築	—

②-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
ケースワーク力の向上における法人の提供価値を見える化します。	ケース検討の事例素材の作成	—

(3) 公益事業担当

事業計画書（案）

① 課・事業担当の基本方針

ご利用者、地域、職員など大田区民を中心とした人たちと共に考え、考動し創る福祉のため最大限の後方支援を行うと同時に、中期経営計画推進項目の目的を達成するため、適切な進行管理に基づく事業管理を行います。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
おおた福祉ネット（法人協）のネットワークで地域貢献を拡充します。	地域のネットワークとプラットフォームの形成	487,056円

②-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
職種別等業務可視化やスキルアップ研修の体系化を目指します。	ケースワーク力、コミュニティワーク力の向上	—

②-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
受託事業費用積算の構造理解や予算要求等計上できる体制を構築します。	予算要求の根拠確立/魅力ある法人の構築	—

②-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)	予算
若年性認知症支援相談窓口、認知症地域支援推進員の協働により、積極的な情報発信を行います。	ヤングケアラーの会発足支援および認知症施策の普及・啓発（情報発信）	—

(1) 羽田糀谷事業部門

①羽田・糀谷事業部門方針

令和7年度は、「ご利用者の尊厳保持と自立支援」「個別アセスメントの実践」「一人ひとりの輝きを大切にする人財育成」「地域の核となる福祉・介護の実践」を方針とします。

特養における、日々の生活の豊かさに着目した日課の見直しや業務改善。通所における、丁寧な個別アセスメントに基づいたプログラムの充実。包括支援センターにおける、個々のケースワーク力の強化と、地域・社会の課題を的確にとらえた重層的支援体制の地盤づくりを実践します。これらの基礎となる、職員育成については、個々が描く未来を応援し、多様な活躍が出来るようキャリアデザインを支援します。そして、以上の取り組みを実現するために、収入確保と適切な収支管理に取り組み、安定した経営基盤を確立します。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目		羽田拠点	糀谷拠点
事業活動収入計①		649,085	127,328
事業活動支出計②		639,398	107,536
	(人件費)	432,240	81,312
	(事業費)	89,564	12,441
	(事務費)	117,403	13,688
	(その他費用)	191	95
事業活動収支差額 ③=①-②		9,687	19,792

(1)-1 特別養護老人ホーム羽田

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 100 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 8 名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年 間 利 用 率	96.0	115.0	97.4	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	479,102	39,317	518,419	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	484,344	36,359	520,703	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 5,242	2,958	△ 2,284	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
日々の業務を通じてご利用者お一人おひとりの想いをくみサービス内容の充実を図ります。	アセスメントによる個別ケアの実践と記録の充実/自己実現プログラム実施

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員の「気づき」の視点を大切にアセスメント・介護技術力の向上に努め「やりがい」を感じる職場を作ります。	ES調査職場、法人への満足度向上/第三者評価経営層と職員の評価乖離減少/EPAの定着/OJT推進

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安全な介護サービスを提供するために必要な支出は、費用対効果を明確にする等精査検討します。併せて、創意工夫による支出の削減を図り、成果を次年度の事業計画・予算に継承します。	目標利用率、目標収支差額の達成/リーダー層との予算執行管理表の分析共有（毎月）

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
特養・在宅・包括など法人のスケールメリットを活かし地域や近隣小中学校との連携をより強化し、社会課題の解決に繋がります。	事業所が提供するサービスの認知度向上/地域向けイベントにおけるアンケート実施

(1)-2 羽田高齢者在宅サービスセンター

事業計画書（案）

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年間利用率	76.0	78.0	76.5	(%)

②予算概要

事業活動収入計	88,001	42,665	130,666	(千円)
事業活動支出計	90,357	28,338	118,695	(千円)
事業活動収支差額	△ 2,356	14,327	11,971	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
「尊厳ケア10」の約束に沿って、ご利用者の権利擁護を 実践するため、個別アセスメントに注力します。	アセスメントによる個別ケアの 実践と記録の充実

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
目標管理キャリアアップ面談を通じて、職員と共に育成 計画を作成し、研修受講や資格取得に繋がります。	ES調査職場、法人への満足度向 上/第三者評価経営層と職員の 評価乖離減少/人事制度再周知 (毎月)

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安全な介護サービスを提供するために必要な支出は、費 用対効果を明確にする等精査検討します。併せて、創意 工夫による支出の削減を図り、成果を次年度の事業計 画・予算に継承します。	目標利用率、目標収支差額の達 成/予算執行管理表の分析共有 (毎月)

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
部門内で情報共有し、フロント業務を充実して、地域の 関係事業所との連携を強化します。また、地域との情報 交換を通じ、社会課題を把握・解決に向けた取組を実践 します。	事業所が提供するサービスの認 知度向上/地域向けイベントに おけるアンケート実施

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズの抽出に取り組みます。	地域ケア会議、個別レベル会議、重層的支援会議の実施

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。	研修参加等による職員の資質及び実践力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センター業務の効率化に取り組みます。	(仮称) 法人研修室活用等環境整備とWEB会議の実践等ICT活用

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
羽田の地域特性を踏まえた地域共生社会の実現に取り組みます。	シニアステーションの活動や既存データを活用した地域アセスメントの実施

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
フレイル予防や老い支度講座の普及・啓発に取り組みます。	大田区シニアステーション利用者アンケートの実施による地域ニーズの把握

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。	研修実施によるシニアステーション職員の資質及び実践力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
シニアステーション業務の効率化に取り組みます。	スクラップ&ビルドの視点での講座等の実施と見直し

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
羽田の地域特性を踏まえた地域共生社会の実現に取り組みます。	包括支援センターと連携した地域アセスメントの実施

(1)-5 大田区立糀谷高齢者在宅サービスセンター 事業計画書（案）

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年間利用率	78.4	70.0	76.3	(%)

②予算概要

事業活動収入計	81,709	45,619	127,328	(千円)
事業活動支出計	87,591	19,945	107,536	(千円)
事業活動収支差額	△ 5,882	25,674	19,792	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
個別アセスメントに注力し、選択レクリエーションの充実を図ります。「尊厳ケア10の約束」を推進し、ご利用者の権利擁護を実践します。	持ち上げない介護定着/介護記録の充実/ケアプランへの反映/第三者評価利用者満足度の向上

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
目標管理キャリアアップ面談等を通じて、職員一人ひとりが役割を認識し自己実現が出来る職場づくりを実現します。	ES調査職場、法人への満足度向上/第三者評価経営層と職員の評価乖離減少

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
費用対効果を精査検討し、創意工夫による支出の削減を図り、事業所移転先の事業部門と連携を図って、成果を次年度の事業計画・予算に継承します。	目標利用率、目標収支差額の達成/移転先による送迎範囲変更など柔軟な対応による稼働率向上

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
部門内で情報共有し、フロント業務を充実して、地域の関係事業所との連携を強化します。大規模修繕下において、他事業部門の地域との関わりを知り、修繕後の地域活動に活かします。	蒲田事業部門との連携/糀谷地域との関係継続

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実に努めます。	地域住民/介護関係者等幅広い対象に向けた講座、勉強会などの実施。

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場づくりを実現します。	意見交換や面談の場の定期的設定/業務を通じての各職員の自己実現/キャリアビジョンの共有

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
コスト削減だけでなく、必要な活動についてはコストや活動量を増やす等、メリハリをつけ柔軟な対応を目指します。	活動内容やコスト、活動量の増減について理由を明らかにした最適化精査

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域住民や行政関係者、介護医療福祉事業関係者などと連携し地域貢献事業に取り組めます。	センター独自の取組の企画、推進

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
住み慣れた地域で安心して暮せる街づくりを目指します。	介護予防支援/権利擁護支援 認知症予防/見守りネットワークの構築

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
働き甲斐をもって働きつづけられる職場づくりを実現します。	地域に合わせた活動の実践と ワークライフバランスの充実 /職場環境の改善

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ヒト・モノ・カネの費用対効果を検証し、コスト最適化を目指します。	経営本部事務と綿密な連携による 予算執行管理

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域に貢献できるよう、提供するサービスの充実を図ります。	特別出張所や医療機関等との地域連携/ 法人間連携/ケースワーク力の向上

(2) 池上事業部門

①池上事業部門方針

池上事業部門では、令和6年度からの3年間「諸課題に対し、真摯に向き合い考動できる職員の育成」に取り組むこととしています。課題を解決するのは何のためなのか、日々の事例や会議体、委員会を通じ、目的をチームで共有することの大切さについて、職員の理解を深めてきました。令和7年度も理解促進を行うとともに、事業部門内連携の風土づくりを行い、チームアプローチによるサービスの質の向上を図ります。

また、各事業の機能、ナレッジを活かした地域貢献事業を創出し、地域と一緒に実践する仕組みを構築していきます。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目		養護拠点	池上拠点	馬込拠点
事業活動収入計①		179,743	666,774	211,958
事業活動支出計②		179,589	683,951	218,501
	(人件費)	77,470	447,909	142,641
	(事業費)	49,489	98,693	32,078
	(事務費)	52,630	136,960	43,611
	(その他費用)	0	389	171
事業活動収支差額 ③＝①－②		154	△ 17,177	△ 6,543

①予算概要

事業活動収入計	179,743	(千円)
事業活動支出計	179,589	(千円)
事業活動収支差額	154	(千円)

②推進項目に対する達成目標とKPI

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
入居者が役割や居場所を持ち、自立した生活を送られるように支援をします。	入居者の意向を反映した自立支援計画票の作成

②-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
各職種の専門性を活かしたケースワークを展開し、チームアプローチを実践します。	カンファレンスを通じたチームアプローチの実践

②-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
フレイル予防やクラブ活動等を通じて、入居者と地域住民が「支え手」「受け手」という関係を超え、誰もが繋がることのできる地域福祉の拠点を目指します。	入居者のニーズ把握とボランティアとのマッチング

②-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域貢献事業を推進する仕組みを構築します。	地域貢献事業の実施

(2)-2 特別養護老人ホーム池上

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 102 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 8 名)

①経営目標

	特養	短期	合計
年 間 利 用 率	97.8	100.0	98.0

(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	472,750	30,957	503,707	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	492,221	31,346	523,567	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 19,471	△ 389	△ 19,860	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
チーム内における情報共有の効率化を図ります。	ICT機器の導入と活用

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護基礎技術ハンドブックを活用して、スキルアップを図ります。	評価のフィードバック

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
役割の整理を行い、職員配置の最適化について検討します。	人員配置図の作成

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域貢献事業を推進する仕組みを構築します。	地域貢献事業の実施

(2)-3 特別養護老人ホーム馬込

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 30 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 5 名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年 間 利 用 率	95.0	100.0	95.7	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	183,348	28,610	211,958	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	187,899	30,602	218,501	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 4,551	△ 1,992	△ 6,543	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
医療と介護との連携により、下剤ゼロへの取組みにより、ご入居者のQOLの向上を目指します。	下剤使用頻度の減少

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
風通しのよい職場環境と、研修制度を整え、人材の育成と定着を目指します。	職員の定着率の向上

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
特養の利用率と短期の利用率を管理し、消耗品のコスト意識を高め収支管理を行います。	収益の向上と支出の抑制

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
専門性を生かし地域の相談の場を設けます。	おなかの保健室の定期開催

(2)-4 池上高齢者在宅サービスセンター

事業計画書（案）

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年 間 利 用 率	66.4	73.0	68.1	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	77,923	41,121	119,044	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	84,971	33,582	118,553	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 7,048	7,539	491	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
質の高い安全・安心なサービスを提供します。	提供サービスごとの顧客満足度向上

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
働きやすい職場環境を整備します。	スムーズな情報共有

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
物品管理の仕組みを作ります。	コスト縮減と管理による支出の抑制

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域貢献事業を推進する仕組みを構築します。	地域貢献事業の実施

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

①経営目標

	定期巡回
月次登録者数	15 (人)

②予算概要

事業活動収入計	44,023 (千円)
事業活動支出計	41,831 (千円)
事業活動収支差額	2,192 (千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	提供サービスごとの顧客満足度向上

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	ES総合指標の向上

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用を確立します。	コスト縮減と管理による支出の抑制

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
長寿園の強みをいかした、地域貢献事業を行ないます。	社会課題に貢献する事業活動の展開

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
フレイル予防の普及を行い、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせるよう、シニアクラブ他、地域の団体と連携して支援します。	地域資源の把握と地域づくり

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員が自己実現をしてやりがいを持って働くことができ、地域に貢献する人材として実力を持てるような職場づくりを行います。	包括職員のケースワーク力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
コロナの流行で縮小した事業の再構築、新事業の体制整備や地域住民が参加できる仕組みづくりに先行投資をし、自発的な地域づくりで費用対効果を上げます。	元気維持、介護予防業務間の連携

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
個人の尊厳を第一に考え、高齢者の自立支援を行います。認知症本人・家族の支援を行い、地域と連携してチームオレンジ事業の充実を目指します。	認知症施策の体系化やセンター独自の取組

(3) 大森事業部門

①大森事業部門方針

令和7年度の大森事業部門はコンセプトである「わたらしい暮らしをおおもりで・・・」をより具体的に体現できる取組みを実践します。

新たなシステムの導入や持ち上げない介護の深化、事業部門内連携の強化等を有機的に機能させ、より個別的なケアの充実を図っていきます。

また、質の高い認知ケアや丁寧かつ専門的な医療的ケア等大森事業部門が持つ強みを他事業部門や地域に還元し、地域が持つ今日的な課題の解決に貢献していきます。

「おおもり」で過ごす「その方らしい暮らし」により快適さと彩りを添えられるように事業部門一丸となって取り組んでまいります。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	大森拠点
事業活動収入計①	545,252
事業活動支出計②	482,178
（人件費）	307,285
（事業費）	82,397
（事務費）	92,226
（その他費用）	270
事業活動収支差額 ③＝①－②	63,074

(3)-1 特別養護老人ホーム大森

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 87 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 4 名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年間利用率	97.0	120.0	98.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	422,686	22,080	444,766	(千円)
事業活動支出計	379,243	17,431	396,674	(千円)
事業活動収支差額	43,443	4,649	48,092	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安心で安全な生活を送ることができるよう、健康に過ごすための取組みと、「その人らしさ」に基づいた個別ケアを実施します。	入院率3%未満 ニーズに基づく個別ケアの提供

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員のスキルアップや資格取得を支援するため、内部研修の実施、外部研修への参加を促進します。	職員の意向、希望の把握 研修参加

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護記録システムのスムーズな導入と活用により生産性の向上を図ると共に、業務再編を行い、必要なケアに重点的に取り組める体制を構築します。	介護記録システムの導入 業務上の課題の抽出、対応

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の高齢者のセーフティネットとしての役割を全職員が自覚し、地域を支えるサービス提供に努めます。	特養、短期利用率98.0%達成 職員の意識の啓発

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員

24名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年間利用率		90.0	90.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計		100,486	100,486	(千円)
事業活動支出計		85,504	85,504	(千円)
事業活動収支差額		14,982	14,982	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症ケア専門の通所サービスとして、個別支援を主としたサービスの質の向上を目指し、地域から必要とされ、選ばれる通所となります。	年間平均利用率90.0%達成

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
記録の電子化を有効的・計画的に実施することに加えて、法人内部・外部の研修を活用し、職員のスキルアップを図ります。	記録システム導入 内部、外部の研修参加(全職種)

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービスの質の向上のため（職員のスキルアップ研修や設備投資等）に有限な経営資源を効率的・効果的に投入し、収支の均衡を図ります。	収支差額

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症ケア専門の通所として、支援方法や支援効果を可視化し、法人内の他通所と共有を図ります。	支援方法、支援効果の可視化

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の皆様が「その人らしさ」を大切に、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います。	自立支援、権利擁護への取組/ 見守りネットワークの構築/特 殊詐欺被害の予防、熱中症予防 への取組

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の皆様の多種多様なニーズに真摯に向きあうことで得ることの出来る、地域からの信頼や職員自身の達成感充実感といった部分を職員自身のQOL（人生の質）の向上につなげていきます。	ケースワーク力の向上/コミュ ニティーワーク力の向上/チー ム力の向上/人間力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センター大森として、法人理念「未来への創造」に基づく必要な地域づくりについて、適正で必要なコストを充当していきます。	地域診断に基づく必要な地域づ くりに対する取組と適正な執行 管理

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センターの強み、法人の強み、特に事業部門内の連携協働を活かした取組を行い、地域に向けて発信していきます。	福祉人材への育成・地域貢献事 業への取組と参加協力/認知症 予防、フレイル予防への取組

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安定した生活の継続のためニーズの把握とサービス内容の向上を目指します。	提供サービスごとの顧客満足度向上

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業所の理解と退所支援の理解を深め、サービスの充実に向けた職場作りを実現します。	ソーシャルワーク力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
生活の安定に向けた、施設管理の維持と執行状況の把握の可視化を目指します。	コスト管理による支出の把握

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の方の在宅生活の維持に向けた地域再建事業の調整及び継続を図ります。 退所支援の提供に向けた仕組みを構築します。	社会の課題解決に貢献する事業活動の展開

(4) 蒲田事業部門

①蒲田事業部門方針

令和7年度の蒲田事業部門は、大規模改修工事を控えた最後の年度を意識し、蒲田事業部門の集大成といえるような取り組みを実践いたします。

相談から入所まで全てのステージでの支援が行える事業部門として、「真のチームケア」の確立を目指します。今まで培ってきた強い「連携力」で複雑化し困難さが増している地域での課題の解決に挑み地域の発展に貢献します。

地域住民の皆さんが「蒲田に長寿園があってよかった」「蒲田に住んでいてよかった」を実感できる事業部門内の協働を実践してまいります。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目		蒲田拠点	矢口拠点	南蒲田拠点
事業活動収入計①		732,965	118,164	89,074
事業活動支出計②		669,812	95,646	76,580
	(人件費)	420,178	70,446	68,314
	(事業費)	108,831	16,480	0
	(事務費)	140,213	8,720	8,266
	(その他費用)	590	0	0
事業活動収支差額 ③＝①－②		63,153	22,518	12,494

4-(1) 大田区立特別養護老人ホーム蒲田

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 104 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 11 名)

①経営目標

	特養	短期	合計
年 間 利 用 率	96.0	117.0	98.0

(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	531,105	58,907	590,012
事 業 活 動 支 出 計	495,378	55,161	550,539
事 業 活 動 収 支 差 額	35,727	3,746	39,473

(千円)

(千円)

(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の想いを大切に、多職種で連携し根拠に基づくサービスを提供します。	夢を叶えるプロジェクトの実践 栄養ケアマネジメントの実践 持ち上げない介護の推進

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	職員分掌 業務計画書

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービス提供上の優先順位を明確化し、人員・時間・経費の適正化を図ります。	予算執行管理表・月報 業務計画書による進捗管理

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
蒲田事業部門の強みである「連携力」を活かし、地域に必要とされる施設運営を行います。	事業部門内連携 短期入所事業の充実

(4)-2 大田区立蒲田高齢者在宅サービスセンター 事業計画書（案）

（通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 40 名）
 （認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名）

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年 間 利 用 率	75.0	89.0	78.2	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	93,895	49,058	142,953	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	85,369	33,904	119,273	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	8,526	15,154	23,680	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握しサービス内容の充実を図ります。	提供サービスごとの目標利用率の達成

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現が出来る職場作りを実現します。	職員の定着

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービス提供上の優先順位を明確化し、人員・時間・経費の適正化を図ります。	予算執行管理表・月報 業務計画書による進捗管理

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
蒲田事業部門の強みである「連携力」を活かし、地域に必要とされる運営を行います。	事業部門内連携 地域貢献の創出

(4)-3 大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター

事業計画書（案）

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 25 名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年 間 利 用 率	88.0	90.3	88.7	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	67,466	50,698	118,164	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	64,233	31,413	95,646	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	3,233	19,285	22,518	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	提供サービスごとの目標利用率の達成

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	職員の定着

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービス提供上の優先順位を明確化し人員・時間・経費の最適化を図ります。	予算執行管理表・業務計画書による進捗管理

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
蒲田事業部門の強みである「連携力」を活かし、地域に必要とされる運営を行います。	事業部門内連携

(4)-4 ヘルパーステーション池上長寿園 南蒲田 事業計画書（案）

（訪問事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所）

①経営目標

	訪問介護
月 間 訪 問 件 数	990（件）

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	47,605	（千円）
事 業 活 動 支 出 計	44,589	（千円）
事 業 活 動 収 支 差 額	3,016	（千円）

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI （重要業績評価指標）
情報共有と意見交換による安定したサービス提供と個別支援を実践します。	月間売上目標達成

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI （重要業績評価指標）
個々の働き方を叶えるために労働環境を整備し多様な働き方を実現します。	職員の定着

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI （重要業績評価指標）
超過勤務を縮減し収支差額の最適化を図ります。	収支均衡の維持

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI （重要業績評価指標）
法人唯一のサービス提供事業所としての介護スキルを他部署に発信、提供します。	チャレンジ研修の積極的な受け入れ

(4)-5 ケアプランセンター池上長寿園 南蒲田事業所
(居宅介護支援事業所)

事業計画書(案)

①経営目標

	居宅介護支援	
月間ケアプラン請求件数	190	(件)

②予算概要

事業活動収入計	41,469	(千円)
事業活動支出計	31,991	(千円)
事業活動収支差額	9,478	(千円)

③推進項目に対する目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
系統立てた所内研修の実施と、定期的なケース検討によりケースワーク力の向上を図ります。	新規相談件数の安定化

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域での研修受講や企画運営に関わり資質向上を図ると共に資格の更新や取得を目指します。	特定事業所加算要件継続資格の更新と取得

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
記録システム等の理解を深め、有効活用する事で業務効率の改善を図ります。	超勤時間削減と業務効率の改善

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
池上長寿園のサービス間の連携を強化し、質の高いケアを提供します。	困難ケースの受入れと対応

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
自分らしく暮らし、互いに支えあい、地域の中で主体性を持って活動できるまちづくりを実践します。	相談を一つの世帯で捉える 地域課題と地域とともに解決する（地域ケア会議）

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
課題を整理して的確な支援につなげることができる職員育成をしていきます。	チーム支援、ケース検討、課題整理、支援方針の立案

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービス提供上の優先順位を明確化し、職員が計画に沿った事業を遂行します。	計画に沿った支出の管理

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
その人らしい生活の実現に必要とするサービスが提供できるよう他事業と連携します。	事業部門内連携

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
管轄地域の様々な資源、介護、医療との協働により地域包括ケアシステム構築に取り組みます。	地域のネットワーク形成

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
チームアプローチ力強化により寄せられる各種相談に対応します。	ケースワーク力の向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
シニアステーション機能の併設に向けて多くの利用者を集めることのできるよう働きかけます。	自主事業の充実と集客

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
管轄地域の多種多様な機関との地域貢献事業を行います。	インフォーマルサービスの活性化と活動支援

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
様々な団体と社会資源を結び付け、地域包括ケアシステムの構築を図ります。	地域のネットワーク形成

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事例検討や勉強会を通じてケースワーク力の向上、対応力の標準化を図ります。	事例検討、勉強会の開催

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用を確立します。	元気維持・介護予防の確立

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症を幅広い世代に啓発し、地域への理解を深める取り組みを行います。	チームオレンジの立ち上げ

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
利用者が満足するようなプログラムを提供し、元気維持や社会参加等にかかる事業を促進します。	ニーズ把握するためアンケートを実施

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員が達成感を持って仕事に取り組めるようアイデアの抽出を図れる機会を作ります。	職員考案のプログラムの提供

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
講師謝礼を可能な限り参加費で賄えるよう日々進捗管理を行います。	予算に基づいた目標の達成

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
シニアステーションの講座を地域の方に知ってもらう取り組みを行います。	利用人数の維持

(5) たまがわ事業部門

①たまがわ事業部門方針

たまがわ事業部門は、事業部門全体が1つのチームとしての認識を持ち、各職員がそれぞれの専門性を活かし連携を図りながら、地域における様々なニーズに応えます。そしてご利用者・ご家族、地域、職員、施設、事業所の満足度の向上とともに、持続可能な事業運営及び経営基盤の構築を目指します。

また、2年目を迎える法人の中期経営計画「未来への創造プラン4.0」に則り、職員一人ひとりが考え創り上げたことを実現に向けて組織として発信します。そして法人内外に関わらず幅広いネットワークを構築し、地域に根差した福祉施設として、高齢者のみならず各分野との繋がりを広げ、地域共創社会の実現に向けた活動を実践します。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目		たまがわ拠点	下丸子拠点
事業活動収入計①		1,258,311	141,320
事業活動支出計②		1,178,263	123,523
	(人件費)	760,224	95,882
	(事業費)	243,342	17,546
	(事務費)	174,400	10,095
	(その他費用)	297	0
事業活動収支差額 ③=①-②		80,048	17,797

(5)-1 大田区立特別養護老人ホームたまがわ

事業計画書（案）

(介護老人福祉施設：定員 237 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 10 名)

※短期入所生活介護の定員は大田区高齢者緊急ショートステイ事業（空床確保分3床）を含み、利用率には含まない

	特養	短期	合計	
年間利用率	94.3	153.1	96.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	1,100,610	55,693	1,156,303	(千円)
事業活動支出計	1,051,011	44,319	1,095,330	(千円)
事業活動収支差額	49,599	11,374	60,973	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
利用者サービスにおける課題・ニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	課題やニーズの把握・分析・実践

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様性を尊重した個々人が活躍できる働きやすい職場環境を作ります。また法人のICT計画に連動し介護記録システムのクラウド化を推進します。	個人目標の進捗支援 ICTの活用による情報リテラシー及び生産性の向上

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
コスト意識の醸成と適正費用を確立します。	コスト縮減と管理による支出の抑制

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業部門連携を活かした地域貢献事業を行います。	特養たまがわの強みの抽出と強化、実践

(5)-2 大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター 事業計画書（案）

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 20 名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年 間 利 用 率	80.0	80.0	80.0	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	56,366	45,642	102,008	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	54,342	28,591	82,933	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	2,024	17,051	19,075	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者お一人おひとりのニーズを把握し、安心して在宅生活が送れるよう支援します。	事業所問い合わせ数、利用契約数の増加

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
心身ともに健康で、やりがいを感じ働き続けることができる職場づくりを行います。また法人のICT計画に連動し介護記録システムのクラウド化を推進します。	ES調査、勤続年数の延伸、離職率の低下 ICTの活用による情報リテラシー及び生産性の向上

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務改善による超過勤務の削減、選ばれる事業所となることでの利用率向上により安定した事業経営を行います。	超過勤務の削減、支出の抑制、利用率の向上

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の拠点として安心してご利用頂ける事業所となり、多くの社会交流を行います。	地域での活動実績向上、戦略的広報活動

(5)-3 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター 事業計画書（案）

（通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 45 名）

（認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名）

①経営目標

	一般＋総合	認知	合計	
年 間 利 用 率	60.0	80.0	64.2	(%)

②予算概要

事 業 活 動 収 入 計	80,587	60,733	141,320	(千円)
事 業 活 動 支 出 計	89,329	34,194	123,523	(千円)
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 8,742	26,539	17,797	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の心身、生活面の状況、ニーズを把握し、必要なサービス内容の充実を図ります。	提供サービスごとの顧客満足度向上

③-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
柔軟性のある働き方の推進を行い、職員の自己実現ができる職場づくりを目指します。	適所適材のシフト作成と担当配置

③-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
利用率の維持を図ると共に不要な支出を抑え、適切な収支管理をしていきます。	利用率維持/コスト管理による支出の抑制

③-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
下丸子高齢者在宅サービスセンターならではの強みをいかした地域貢献事業の創出と実践をします。	地域貢献の実践

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。 ご利用者一人ひとりの状況やニーズに合わせた対応をするために、専門性の向上に努めます。	月次の内容別相談件数共有 研修受講件数

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場環境作りを実現します。 ライフワークバランスを推進し職員が働きやすい職場環境について考えていきます。	職員面談、ヒアリング 有休取得日数

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用を確立します。 限られた予算でより効率的、効果的な執行を意識し、新規事業の執行管理にも着目しコスト最適化を目指します。	予算執行管理表の活用 四半期執行率 補助金、助成金

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
池上長寿園の強みを生かした地域貢献事業を行います。 イベント、行事等をホームページに紹介し地域へ向けて発信することで包括を知って頂く機会とします。	法人協の取組み参加 法人内事業所連携 ホームページ掲載件数

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
オレンジノベーション・プロジェクト等（当事者参画型開発）を通じた社会参加による地域貢献活動を支援します。	当事者と企業の形成、商品開発

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
他法人と自法人の強みを活かした相互連携による資源創出と人財力向上を目指します。	障害福祉分野を中心としたスキルアップ

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
受託事業費用の適正管理と助成金資源を精査しながら継続的事業に向けた運用を行います。	受託事業等の予算管理、予算要求の根拠確立

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ヤングケアラーサポート開始に伴い、子どもから成人までワンストップで対応できる仕組みづくりを行います。	事業の体系化、普及・啓発

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センターが周知される取組みを進めていきます。	効果的な周知（広報）の機会

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
柔軟な働き方や研修・セミナーなどによるスキルアップやモチベーションのアップを図っていきます。	ケースワーク力、コミュニティワーク力、チームアプローチの向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用を確立します。	公益事業における経費節減

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
池上長寿園の強みをいかした、地域貢献事業を行います。	新規課題把握

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実に努めます。	無理なく継続でき、効果を実感できる多様なプログラムの提供

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	職員のスキル力アップとコミュニケーション向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用の確立をします。	コストの見える化と目標設定の共有。プログラムの実施と改善

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法人の強みをいかして、地域貢献事業を行います。	包括と連携し、切れ目のない支援の提供

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	無理なく継続でき、効果を実感できる多様なプログラムの提供

①-2 職員満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	職員のスキルアップとコミュニケーション力向上

①-3 コスト最適化の実現

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの適正費用の確立をします	コストの見える化と目標設定の共有。プログラムの実施と改善

①-4 提供価値の可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法人の強みをいかして、地域貢献事業を行います。	包括と連携し、切れ目のない支援の提供